

# 皆さんの「声」を聞かせてください！

## 子育て支援センター利用者の話

今回は、中山町子育て支援センターをよく利用されるという子育て中のお母さんたちにお話を伺いました。すぐそばで子どもたちが遊んだり、お昼寝している状況でのグループインタビューは、とても新鮮でした！子どもたちがのびのびと中山町で育っていくために必要だと感じていることを、たっぷりと伺うことができました。



子育て支援センターがあって  
良かった！

相談  
しやすい

雰囲気が  
アットホーム

情報交換  
しやすい

ママ友ができるのは、  
ここぐらい



私は、産後うつになった時に、友人に誘われて訪れました。その時に、出産後に初めて「ゆっくりできた」という感覚が得られたんです。それまでは、子育てのことで気が張りつめていたのですが、いろいろ話を聞いてもらううちに、気持ちがほぐれていきました。当時は別の自治体で暮らしていましたが、この経験が「中山に移ろう」というきっかけになりました。

中山町は、ほかにも良いところがあります！

自然が豊か

ほんわ館は  
子どもと一緒に  
利用できる

四季を  
感じやすい

体育館は  
遊び場になる

中山町は良いところだと思う。だけど...

中山町で子どもを育てることに、不安はある

町内に  
選択肢がない

小さい赤ちゃんを  
連れて行ける場所がない

ペンギン公園は  
大きい子ども向け

中山町の公園は  
遊具が充実していない

子どもが  
高齢者から  
学ぶことは  
多いと思う

小児科がない

安全に遊ばせることが  
できない

子どもの手が  
ずっと離れない

土日に子どもを  
預けられたら、  
どんなに選択肢が広がるか...！

身内が近くにいない人は、  
中山町での子育ては  
大変だと思う

中高生と乳幼児の  
交流機会が  
あっても良いと思う



現状では、  
親を頼らざるを得ない状況

町内の人材を活用して  
子育て環境を整えることが  
できたらいいなあ...

少しでも  
自分の時間が  
ほしい！

旧「まるっと」は  
声が響きすぎる...

今の中山町には...

ゆっくり話す時間も  
場所もない

誰かと  
話したい！

「中央公民館」は  
子どもが  
居づらい...

他の世代と知り合う  
きっかけがない

「多世代が集うことができて、  
それが子どもの見守りにもつながる」  
ような場があれば、  
子育て状況が少しは改善するかも！

## 1 子育て支援センターがあって良かった！

「こんなに雰囲気の良いところは、他にはない！」と、利用者としても現在の子育て支援センターには大満足されている様子。アットホームで相談しやすい環境は、乳幼児を育てるお母さんたちにとって強い味方になっているようです。ある方は、「産後うつになりそうな時、この子育て支援センターを紹介された。その時の対応にとっても救われて、当時は他の町に住んでいたけれど、『中山町に移ろう』と強く思ったきっかけの一つだった」とお話ししてくだ

さり、子育て中の方にとって、こうした施設存在が移住の選択肢になることが分かりました。

一方で、「町内でママ友ができるのは、ここぐらい」と、乳幼児の育児に向き合う親御さんたちの交流の場が限定されている状況があることも分かりました。子どもの成長のことや遊び場の情報交換等、身近な情報は対面でのコミュニケーションから得ることが多いことを考えると、もっと施設の選択肢があっても良いのかもしれませんが。

## 2 それなりに子育てできるけれど、不安もある

「不安」として一番多く挙げたのは「小児科がない」ということです。中山町の子育て世帯では、「町外にある小児科を 2 ～ 3 ヶ所見つけておき、いざという時に診てもらえるようにしておく」ことが当たり前になっているようです。

遊び場に関しても、「小さい子どもを連れて行ける場所がない」「公園はあるけれど、安全に遊ばせることができない（遊具が大きい、蜂が飛んでくる等）」ということで、「結局、町外に連

れて行くことがほとんど」とのことで、「子どもが小さいからこそ、すぐに自宅に戻れる場所に遊び場があってほしい」という声が聞かれました。

そして、「土日に子どもを預けられるサービスがない」ということも不安を生んでいることが分かりました。「身内が近くにいない人は、中山町での子育ては難しいと思う」という声もあり、子育て世代の暮らし方の選択肢を増やすことが求められていると実感しました。

## 3 「子どもをみんなで見守っていく」ための拠点を

普段は仕事や育児、家事に忙しくしているお母さんたちは「ゆっくりする時間も、場所もない！」とのことで、「少しでもいいから、自分の時間がほしい」という切実な願いが語られました。そして、子どもたちが家族以外の大人と触れ合う機会も限定的であることや、お母さん方も子育て支援センター以外での交流がないことから、「多世代と交流

できる場がほしい」という意見も出ました。子育て世代だけが頑張るのではなく、「子育てを終えた高齢者や、これから将来を考える中高生たちが子どもと触れ合う機会をつくれないのだろうか」という意見も出され、さまざま視点から「子どもをみんなで見守っていく」ための拠点としての新しい施設への期待が感じられました。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第 6 次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第 6 次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総務広報課防災安全対策室（中山町大字長崎 120 番地／電話：023-662-4899）

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

〈2025 年 3 月発行〉